

令和4年度 中井町地域公共交通会議（神奈川県中井町） （地域公共交通計画策定事業）

公共交通の概況・地域の特徴

鉄道駅のない中井町では、町民の日常的な移動手段として民間路線バス(1事業者)が運行している。また、地域からバス停までを繋ぐフィーダー的な役割としてオンデマンドバス(町委託事業)を運行している他、福祉有償運送(社会福祉協議会)が運行されている。

地理的には隣接市町の最寄り駅や市街地へ車で15分程度の距離にあり、丘陵地で坂道が多く、徒歩や自転車での移動に向かないことから、マイカー利用の生活スタイルが強い。また、町内西側の広範囲(松本・岩倉・古怒田地区)に公共交通空白地域が点在している。

人口減少等に伴う利用者減から、バス事業者から減便や廃止の意向が示されたため、町が赤字額の一部を補助することにより、町北西部の境地区の小中学生の通学の足を維持している。

地域の抱える問題点・計画策定調査の必要性

老年人口の割合が35%を超え、交通空白地域が広範囲に点在している現状に加え、当町の地理的な特徴及び鉄道駅のない現状からマイカー依存率が高い状態である。また、昨今のコロナ禍の影響もあり路線バス等の公共交通利用者の減少が著しい状態である。

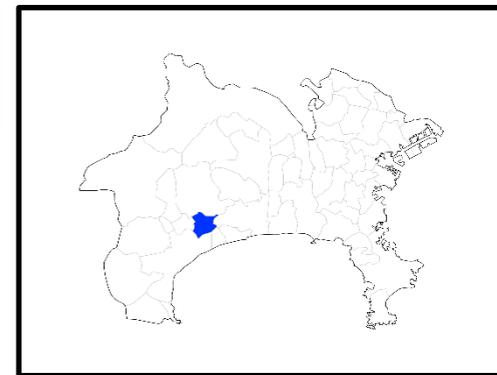
現在町では町民の日常的な移動手段を確保するため、路線バスの運行補助による路線維持に加え、オンデマンドバスを運行しているが、毎年高額な事業費が掛かっており、これらは今後増加していくことが予想され、町の財政を圧迫する恐れがある。

今後も高齢化の進展等により交通弱者が増加することが予想されるなか、安定した地域公共交通を維持・確保していくため、地域交通施策のマスタープランである地域公共交通計画を策定する必要がある。

計画策定するためには、町内の地域概況や公共交通機関の状況等についての現状を把握するとともに、交通体系の見直しに際して、住民の移動ニーズや町内就労者の通勤に係る移動ニーズ等について調査が必要である。

アピールポイント

- ・町民アンケート調査について、より細かなニーズや現状を把握するため、約9,000人の人口に対して、2,000名にアンケート調査を配布した。
- ・鉄道駅のない地勢のため、最寄駅等までの送迎の現状だけでなく、送迎される側、送迎する側の負担感に関する設問を加えた。
- ・町民に寄り添った公共交通システムの構築のため、町民の移動に関する現状把握だけでなく、困り感についても把握するための設問を設けた。
- ・町民の意見だけでなく、町内事業所、交通事業者、関係団体、民生委員・児童委員へのアンケート調査も実施した。



面積	19.99 km ²
人口 (R4.4.1時点)	9,063人
15歳未満	840人
65歳以上	3,247人
高齢化率	35.83%

協議会開催状況

- 令和4年度の開催状況(予定含む)
- ・第35回(4年6月13日)
中井町地域公共交通計画の策定について
 - ・第36回(4年8月23日)
計画の策定に係るアンケート調査について
 - ・第37回(5年1月上旬(予定))
事業評価(書面協議)について
 - ・第38回(3月中下旬(予定))
計画素案について

・地域の公共交通体系図

赤線が、路線バス走行経路

